

素晴らしい伝統産業 “京焼・清水焼” の新たな試み
— 伝統的な技術をもって創造的な商品を生み出していきます —

平成23年度 採択事業

株式会社 熊谷聡商店

代表取締役社長

熊谷 隆慶さん



熊谷 隆慶さん

時代に応じた伝統産業を

「当社は食器・茶道具を中心とした京焼・清水焼を提供してきましたが、数年前から違う分野への模索を始め、その中でファッションの分野にも展開し、新顧客を生み出していこうとチャレンジを始めました」と、平成22年に3代目社長に就任した熊谷隆慶さんは静かに意気込みを語ります。歴史ある伝統工芸品である京焼・清水焼を一人でも多くの方に手に取っていただくためには、時代のニーズに合った商品開発、新規販路開拓、職人技術の応用などをし続けることが必要だとおっしゃいます。もっと身につける商品を、と今回ファンドでチャレンジしたのは京焼・清水焼のアクセサリ。型で成型した陶器や磁器に上絵を施し、金属や組み紐などの異素材を組み合わせることで表情豊かな商品に仕上げました。

アクセサリづくりのきっかけは、空港で販売していた京焼・清水焼のカフスが、海外への手土産として好評だったこと。カフスなどの場合は、仕様に応じて部分的に焼物をアクセサリパーツとして納める場合が多かったのですが、これをヒントに女性向けに商品展開を考えました。主力商品の食器を百貨店でご覧になるのも、手に取られるのも、普段お使いになるのも実は女性が多く、女性をターゲットとした商品展開への可能性が感じられたと言います。



アクセサリ製作技術の元となったはしおき

また、小物類の製作にあたっては、従来のはしおきの製作技術の転用が可能でした。季節ごとに作られる絵柄や造形、手作りで1つとして同じものがない表情などが特徴で、技術力が高く比較的低価格で提供できます。以前から、はしおきをブローチなどのアクセサリに使用される方がいらっしゃるほど、繊細で美しい焼物です。その技術力やノウハウはアクセサリ作りへの大きな自信にもつながりました。

伝統製品の活用



京焼・清水焼で作られたアクセサリ

こつこつとニーズに応えながら

焼物を素材としたアクセサリは、個人規模では既に存在しますが、流通しているものはほとんどありません。このため、焼き物に限らず様々なアクセサリを参考に、企画、デザインしてきました。また、婦人冊子などから最新の傾向をリサーチし、作ってはニーズを探るの連続です。「今は、とりあえず種類を増やして、こつこつと好みに応える作業を続けています。」と、熊谷さん。製作に当たっては、女性スタッフが中心となり、社内議論を重ね、時代に合った新商品を次々と開発しています。例えば、日本人の女性は小ぶりのアクセサリを好みますが、海外のお客様は大ぶり存在感のあるデザインを好まれるなど、手に取ってくださるお客様から直接ニーズを聞きながら、サイズ変更や絵柄の考案などを繰り返すと言います。また、主要なパーツは焼物ですが、他素材はできれば京都もんにこだわりたい、と、金属や組み紐などのコラボレーションにも積極的です。贈り物での購入が多いことがわかり、パッケージもオリジナルで制作しました。ニーズや情報を聞きつけるとすぐに商品化し、お客様の反応を確認する…行動力の賜物です。

今後は、販路拡大に力を入れたいと言われます。これまで器を中心にご覧になられていたお客様には、ディスプレイを工夫することでアクセサリにも興味を持っていただけるようにしています。また、焼物の質感は和装にも合わせやすいため呉服店との連携発信、贈り物としての需要が多いためギフトショーなどへの出展、と他業界へも露出を多くしていくことで販路を切り開いていきます。「出展することで有田焼の方と出会って意気投合

することもあります。同業者同士の協力も大切にしていきたい、焼物業界全体で盛り上がっていただけたら嬉しいんです。」と熊谷さん。

歩みを決して止めてはいけない

着々と展開しているアクセサリ部門ですが、これからどう続けていくかが課題だと言われます。宝探しのようには手探りででも、新しい分野を切り開いていく、そうすることで、より多くの方に京焼・清水焼を手に取っていただく機会が増え、身近なものになるのではないかと。

そういった京焼・清水焼のこれらにける想いは、平成3年に本社向かいにオープンしたショールーム「ギャラリー洛中洛外」にある陶板の洛中洛外図にも現れています。洛中洛外図(上杉本)を48枚の京焼の陶板で実物大に作製されたこの作品は、京焼・清水焼の絵付技術を駆使し、色彩、画風、構図を見事に再現しています。「京焼・清水焼の職人技を後世にも伝えるためには、職人の手を動かし続けることが最も大切です。その機会を作るためのチャレンジを続けるのが私の仕事。」焼き物の可能性を信じ、多くの方に手に取っていただきたい、そして、そのための取り組みを続け、決して止めない…。

熊谷さんの言葉からは、京焼・清水焼の技術力の高さとそれを支える多くの職人を尊敬し、それらをお客様に届ける役割としての覚悟が感じられました。



ギャラリー「洛中洛外」でのアクセサリ展示

事業概要

株式会社熊谷聡商店

<http://www.kyoto-kumagai.co.jp/>

代表：熊谷 隆慶

業種：京焼・清水焼産地卸

創業：昭和10(1935)年 設立：昭和30(1955)年
住所：〒607-8322 京都市山科区川田清水焼団地町9番地の5

TEL：075-501-8083 FAX：075-501-5876